授業科目名・形態	基礎看護技術論Ⅱ（診療補助）　講義	必修・選択の別	必修	単位数	2
科目担当者氏名	黒澤繭子他	実務経験の有無	有	開講期	1年後期
科目ナンバリング	N4-1005npmht				

【授業の主題】

基礎看護技術論Ⅰ・基礎看護技術演習Ⅰで学んだ知識や技術をふまえ、診療に伴う援助を安全・安楽に実施するための専門知識と根拠について学ぶ。

【到達目標】

1. 診療に伴う援助に関する基礎的な知識を理解できる。
2. 診療に伴う援助を安全・安楽に行う方法を理解できる。

【授業計画・内容】

第 1 回　感染防止の技術(2) 、安全確保の技術（小畑）
第 2 回　創傷管理技術(1)：創傷処置（小玉）
第 3 回　創傷管理技術(2)：褥瘡予防（小玉）
第 4 回　呼吸・循環を整える技術(1)：酸素吸入・吸引（小玉）
第 5 回　呼吸・循環を整える技術(2)：体温管理・罨法（小玉）
第 6 回　食事援助技術（千葉）
第 7 回　与薬の技術(1)：与薬（黒澤）
第 8 回　与薬の技術(2)：注射法（黒澤）
第 9 回　与薬の技術(3)：注射法の実際、輸血（黒澤）
第 10 回　症状・生体機能管理技術、診察・検査・処置の介助技術（小畑）
第 11 回　ヘルスアセスメント(1)（黒澤）
第 12 回　ヘルスアセスメント(2)（黒澤）
第 13 回　ヘルスアセスメント(3)（黒澤）
第 14 回　死の看取りの援助（黒澤）
第 15 回　まとめ

【授業実施方法】

基本的には講義形式で行うので主体的に授業に参加すること。

【事前・事後学習】

課題学習、ワークシート、試験対策等を含め計 60 時間程度の自主学習を行うこと。

【主な関連する科目】

総合科目、専門基礎科目、看護学概論、基礎看護技術論Ⅰ、基礎看護技術演習Ⅰ・Ⅱ

【教科書等】基礎看護技術論Ⅰと同様

【参考文献】基礎看護技術論Ⅰと同様

【成績評価方法】定期試験（95%）、授業への取り組み姿勢・課題レポート（5%）から総合的に評価する。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

総合病院での臨床看護の経験がある。看護の基礎として重要な知識や技術を習得する上で、具体例など交えることで応用できる考え方を促していきたい。

【学生へのメッセージ】

前期の基礎看護技術論Ⅰと同様、看護の基本技術に関する知識を学びます。安全で安楽な看護を提供するための技術を根拠とともに理解しましょう。